

学校教育目標<一人一人の個性を伸ばし、自ら学ぶ生徒の育成を図る>

# 敬愛



甲斐市立敷島中学校  
学校だより第10号  
令和4年12月21日  
発行 樋川 和之

大きく成長した…

## 敷中の2学期80日が終了！

まだ夏の盛りを感じさせた8月23日（木）にスタートした2学期が、本日の終業式で幕を閉じました。時間（月日）が経つのは本当に早いと感じます。2学期の授業日数は、80日、たくさんの実りをつけて終わることができました。



2学期も、コロナ禍になってから初めて、感染症対策をしながらも、様々な学校行事を再開してきたほぼ「フルサイズ」の学期でした。ご家庭においても、様々な感染症対策や準備など、子供たちへのきめ細かいご指導やご支援といったご協力をいただき、本当にありがとうございました。1学期に引き続いて、充実した学校生活、学校行事を通して、その成果の大きさを感ずることができました。生徒たちも、さらに大きく成長を遂げた学期であったと思います。9月、3年ぶりに全ての部門を2日間で開催した年輪祭。生徒たちの若者らしいエネルギーのうねりが学校を飲み込みました。10月、先輩に追いつけ・追い越せの精神で戦った新人大会と、全校で行う鍛練も再開しました。

11月には、2年生は県内の多くの事業所にご協力をいただき、職場体験を実施いたしました。日常の学校生活では経験できない、貴重な時間を過ごすことが



「敷島中ホームページへ」学校の様子をご覧ください。

<https://www.city-kai.ed.jp/schu/>



できました。同じキャリア教育の1つとして、1年生は職業調べに取り組みました。一方、進路選択のヤマ場を迎えた3年生は、2回の教達検と進路決定の懇談を行い、中学校卒業後の進路選択の真剣な取組が続いています。12月には生徒会役員選挙があり、来年度の敷中をさらに良くしたいという力強い思いを、1、2年生の立候補者が訴えていました。



また、12月の学校開放日では、それぞれの学年が工夫をこらした発表を行いました。3つの学年とも、学年合唱を最後に発表しました。年輪祭をさらに上回る成長ぶりで、声と心を合わせた素晴らしいハーモニーを体育館いっぱい響かせました。合唱は「敷中の文化の1つ」だと改めて思いました。



大きな行事が続いた2学期でした。どの学年も、行事を成功させようと努力する姿や協力して頑張る姿は、本当に見事なものでした。その姿があったからこそ、一人一人がひと回り、ふた回り成長できたのではないかと思います。

## ご家庭の皆さまへ

1年間ありがとうございました。

今年も1年間、敷島中学校へのご理解とご協力・ご支援をいただきまして、本当にありがとうございました。本校がこうして無事に、2学期を締めくくることが出来ますのも、保護者をはじめ皆様のお力添えがあったからこそと心より感謝しています。本校の生徒たちは、素直で真面目、そしてエネルギーに溢れています。感染症対策をしながらですが、日々の学習や生活、再開した学校行事を通して、学年始めよりも一回り、いえ二回り以上、たくましく成長したと思います。信頼される学校づくりに向けて、教職員一同、これからも力を合わせて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします

### 【学校閉庁日】

12月29日(木)～1月3日(火)まで「学校閉庁日」となります。学校閉庁日は、学校に職員が原則不在となります。連絡等は「さくら連絡網」にお願いします。